

朝霞地区医師会

地域包括ケア支援室便り

No.6

令和3年1月号



【年頭の御挨拶】

皆様、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、令和の新しい年がスタートしました。医師会では、当地区住民の生命と健康を守る為に、昨年4月に朝霞地区PCRセンターを立ち上げました。例年以上に年末年始体制を強化したり、今後はワクチン接種事業にも携わってゆきます。感染症からお年寄りを守る為には、行政と介護そして医療が連携しなければなりません。何年も前からスタッフ間の「顔の見える関係」構築の重要性が事ある毎に叫ばれてきました。しかしながら昨年来会議の大半がオンラインで開催される様になってしまいました。確かにオンライン会議のメリットは大きく、現状では必要不可欠であるのは間違いありません。一応顔も見えてはいるし...でも「顔の見える関係」は、やはり多職種間の袖触れ合う間柄で、冗談の一つでも言いながら和気あいあいとした...、時には懇親会でビールでも飲みながら...と思い描くのは不謹慎に過ぎましょか？今年もよろしく願い致します。

朝霞地区医師会 地域包括ケア支援室
室長 滝澤義和



【地域包括ケア支援室事業の進捗状況】

①朝霞地区入退院支援ルール検討の取り組み

高齢者の「最後まで自分らしい生活を続ける」ことを支えるためには、医療と介護をはじめ多様な関係機関が切れ目なく連携することが必要です。そこで、病院関係者と在宅関係者が円滑に連携し情報を共有するためのツールの1つとして「入退院支援ルール」の作成に取り組んでいます。作成メンバーは、病院等の医療機関と在宅支援を担う、かかりつけ医、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、薬局、歯科等の入退院支援に携わる各職種の代表者34名で構成しています。コロナ禍であり34名での会議開催が難しいことから、委員へ意見聴取を行い、その意見をもとに代表者11名で検討を重ね年度内の完成を目指しています。来年度からは、この普及啓発を進めていきたいと思っておりますので、みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

②朝霞地区訪問看護ステーション組織づくり

コロナ禍で顔の見える関係づくりが難しい中、MCS（メディカル ケア ステーション）を活用して、組織づくりをすすめています。地区内29ヶ所の訪問看護ステーションへ「組織づくり」を呼びかけ、昨年9月に推進メンバーが決まりました。11月には、1回目の顔合わせ・情報交換を行いました。まだ、歩み始めたばかりですが、今後も組織づくりに向けて取り組んでいきます。





新型コロナウイルス関連情報

～埼玉県ホームページより～

【朝霞地区内で指定されている診療・検査医療機関】

◎埼玉県では、発熱などがある場合に受診し、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療ができる医療機関を「埼玉県指定診療・検査医療機関」と指定し、公開しています（2021.1.12現在）

■受診・相談センターから案内を受けた患者 初診患者等広く受け入れを行っている医療機関

朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科★
朝霞台呼吸器科・内科・外科クリニック
あさくらクリニック★
はねだクリニック★
TMGあさか医療センター★
上野胃腸科
塩味病院
志木駅前うちだ耳鼻科★

志木江原耳鼻咽喉科★
TMG宗岡中央病院★
柳瀬川ファミリークリニック★
堀ノ内病院
新座志木中央総合病院★
菅野病院
和光駅前クリニック★
和光耳鼻咽喉科医院★
天野医院★

■自院のかかりつけ患者のみ受け入れる医療機関

朝霞病院
北朝霞・朝霞台駅前I.I.I.こどもクリニック★
宮戸クリニック★
朝霞厚生病院
わこう在宅診療所
勝海外科
平山クリニック

志木いろは橋クリニック★
西川医院
いしもと脳神経外科・内科
さとこどもクリニック★
志木南口クリニック★
中村クリニック★
新座病院

※★小児受診可能な医療機関

情報は常に更新されますので下記検索システムでご確認ください。
最新情報は、「埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム」
[<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/>]

昨年末から、1日の新型コロナウイルス感染者が過去最多記録を更新し続け、令和3年1月7日に1都・3県に向けて緊急事態宣言が再発令されました。皆様の職場においても業務継続のための準備や対応でお忙しいのではないのでしょうか？
なかなか終息の見通しがつきませんがさらなるご自愛されて、第3波を乗り越えましょう！



【クラスター発生に備えた 高齢者施設の互助ネットワーク】

◎入所施設においてクラスターが発生し、介護職員にも感染が広がった場合、介護職員が大幅に不足することが考えられます。

埼玉県ではこうした場合に備え、応援職員の派遣や入所者の受入等に御協力いただける施設を種別ごとに相互応援施設として登録し、クラスター発生に備えた互助ネットワークを構築しています。

朝霞地区内の登録施設（公表可のみ）

《特別養護老人ホーム》
ハレルヤ 花水木の里 志木瑞穂の森 ブロン
和光苑 菜々の郷 晴和苑 そらーれ新座

《介護老人保健施設》
ケアライフ朝霞 グリーンビバレッジ朝霞台
ナーシングホーム和光

《軽費老人ホーム》
ケアハウス桜の里 ケアハウス新座ライフ

【介護者感染時の要介護者の受入れ施設】

◎ケアラー（家族介護者等）が新型コロナウイルスに感染して入院等した場合に、要介護者（高齢者・障害児者）が安心して生活できる場所を確保するための受入施設を県内の特別養護老人ホームや障害者施設に開設しました。

《入所対象者》

ケアラー（家族介護者等）が新型コロナウイルスに感染して入院し、在宅などで介護が困難になった要介護者（高齢者・障害児者）で、PCR検査を受けて陰性となった方

受入施設

深谷市 特別養護老人ホーム
かがやき 定員5名
さいたま市岩槻区 ケアセンター
岩槻名栗園 定員4名
狭山市 特別養護老人ホーム
むさしの園わかば 定員4名
行田市 特別養護老人ホーム
まきば園 定員4名
三郷市 高齢者総合福祉施設
しいの木の郷 定員3名
※敷地内に応急仮設住宅を設置

埼玉県老人福祉施設協議会及び埼玉県発達障害福祉協会などの協力のもと、周辺施設から応援職員の派遣を受けて要介護者のケアに当たります。

支援室のつばやき

新たな会議・研修会の取り組みとして、新座市のケア会議や朝霞市の研修会、支援室ではコーディネーター研修会等がオンラインを利用したりリモートで行われるようになってきました。みなさんの周辺ではいかがでしょうか...今後は、新しい生活様式に伴って、オンラインに対応できる環境整備が必要な時期なのかも知れませんね。